

三月読み取りおけいこ①（高）

名前（

三月三日はひなまつりの日ですね。ということで今日はひなまつりについて、くわしくなつていただきます。そもそも、平安時代にはこれは上巳じょうしの節句しゅくごといいました。もともと一月一日・三月三日・五月五日・七月七日・九月九日は五節句ごせつごといって、何らかのおまつりをしていたのですが、そのうちのひとつです。

紙ひとがたで人形ひとがたを作り、息をふきかけて体内のけがれをうつし、川に流すなどしていたのです。今でも、奈良県の吉野や鳥取県には流しびなの風習が残っています。

でも、だんだん流さないで家にかざられるようになりました。江戸時代はどんどんひなだんが豪華ごうかになり、もっと小さいおひなさんにしなさいというおふれがでたりしています。

はじめは宮中・武家のものだったひなかざりは、各家庭にも広まっていきました。そして、嫁入り道具よめいりどうぐのひとつにくみこまれるようになったのです。

基本はお内裏様だいりといわれる男のおひなさまと女のおひなさまです。もとは男の方が向かって右（上座から見て左）でした。古来、右より左が上だとする考えがあったからです。でも、明治時代に、男女同権の考えが入ってきて、大正天皇や昭和天皇は皇后こうごと並ぶときに右（向かって左）に位置しました。それで、現在はどちらでもいいことになっていますし、地方によってもちがいます。京都では、むかしながらの並べ方をするおうちが多いようです。

三人官女では真ん中が鉄漿てつじょうをつけた年かさの人、五人囃子ごにんばやしは向かって右から謡うたい、笛ふえ、小鼓こつづみ、大鼓おおつづみ、太鼓たいこです。楽器が小さい順に右から並んでいると覚えておくとかざりやすいですよ。音読サイン→

① 何の話でしょう？

（

② ひなまつりのことを平安時代は何といいましたか？

（

③ 五節句の五月の分は今何の日になっていますか？

（

④ では、七月の分は何の日ですか？

（

⑤ 人形のもうひとつのよみ方を書きましょう。

（

⑥ むかし、左大臣と右大臣ではどちらが上とされたのですか？

（

⑦ 五人囃子の中で一番えらいとされたのは何をする人ですか？

（

⑧ ⑦の人の持ち物は何ですか？

（

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（

（ ） ひなかざりはむこいりの道具である。

（ ） 若い官女ははしっこに位置する。

（ ） 昭和天皇はいつも皇后のうしろだった。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

（

（

（

（

（

（

（

（

できばえは？

